

## PBLガイドブック（高校版）Webサイト 実践事例報告書

- 1 学校名（ 倉敷市立真備陵南高等学校 ）
- 2 総合的な探究の時間の名称（ 総合的な探究の時間 ）  
※総合的な探究の時間の実践例ではない場合は、教科・科目名等を記入してください。
- 3 実施学年（ 全学年 ）
- 4 事例の概要（いずれかに（複数でも可）に○をしたのち、その概要を記入してください。）

1 課題の設定	○	5 まとめ・表現	○
2 情報の収集		評価、進路指導に関するもの	○
3 整理・分析	○	その他（ ）	
4 課題解決に向けた実践			

進路学習と防災学習を総合的な探究の時間の二本の柱として、卒業後の自己実現を目指すとともに、地域社会の防災活動に率先して参加できる姿勢を育てる。

昨年度からの実践で1年では自助、2～4年では共助について学び、自分ができる防災活動について考える。

### 5 ねらい

本校は倉敷市真備町に位置しており、平成30年の西日本豪雨災害で校舎が被災した。この出来事をきっかけに、有事の時に防災・減災のために活動できる、有為な社会人となることをねらいとしている。

### 6 工夫点

学年進行で防災について体系的に学べるように計画を立てた。1年は自助をテーマに災害から身を守る知識を学び、危険箇所調べをおこなった。2年以上では共助をテーマに災害時要援護者について学び、自分たちができる支援活動について考えた。また、企業の方を講師としてお招きし、防災活動や被災地支援に関する講演会を行なうことで、様々な視点から防災意識が高まるようにした。

### 7 苦勞した点（課題をどのように解決したか）

進路学習と防災学習を総合的な探究の柱としているが、限られた時間数の中で両者の活動のバランスを取ることが難しい。また、全学年で3年（4修コースは4年）かけて活動するため、年度をまたがっての引継ぎをどうするかが今後の課題である。